

スイス再保険の最新シグマ調査 新興市場における保険事業拡大とイスラム保険の見通し

Contact:

Patrizia Baur, Zurich
Telephone +41 43 285 3153

Clarence Wong, Hong Kong
Telephone +852 2582 5644

Kurt Karl, New York
Telephone +1 212 317 5564

Media Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 7171

Swiss Reinsurance Company Ltd
Mythenquai 50/60
P.O. Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999
www.swissre.com

チューリッヒ、2008年12月3日—スイス再保険会社(以下、スイス・リー)の最新シグマ調査では、イスラム保険のひとつであるタカフルの市場成長に注目し、新興市場における保険業界の最新動向を取り上げました。

第1部では、新興市場における保険業界の最新動向、第2部では、イスラム法学者に広く受け入れられ、相互扶助およびリスクの連帯負担に基づいた金融保障の形態を持つタカフルに焦点を置いています。

新興市場の損害保険

2007年、新興市場の損害保険セクターにおける保険料は実質ベースで11.6%の伸びを示し、保険料ボリュームは総計1,990億米ドルとなりました。南アジア／東アジア(+13%)、東欧(+12%)、中東(+12%)といずれも高い成長率を示しました。シグマの共同執筆者であるダニエル・スタイブは、次のように述べています。「損害保険部門では、中東の強固な経済環境と強制的な保険保障の導入が成長に大きく寄与しました。2007年の新興市場における損害保険の中心となったのは自動車保険と財物保険で、自動車保険は損害保険市場全体をアウトパフォームしました」

新興市場の生命保険

生命保険市場の伸び率は2006年の19%から2007年には14%に低下し、2007年の保険料ボリュームは総計2,230億米ドルとなりました。共同執筆者のプルーデンス・ホーは次のように述べています。「2007年第3四半期までの株式市場が好調に推移し、投資リンク型生命保険商品の売上の伸びをもたらしました。新製品の発売やバンカシュアランスの市場シェア拡大、銀行の保険サービス提供も生命保険セクターの成績に大きく貢献しました」

大半の地域で、成長は前年の過去最高水準から若干減速するにとどまりました。南アジア／東アジアで2007年に最も急速に伸びたのはインドネシアでした(+57%)。新興市場第2位の市場であるインドでは、2006年の145.7%から、2007年には9.6%と大幅に低下しました。

新興市場の保険の動向と今後の見通し

新興市場の保険セクターにおける最新動向のひとつに、いくつかの規制当局がより厳格な自己資本規制の導入を決定したことが挙げられます。低所得者に保険カバーを抵抗するマイクロ保険が普及し始めてい

ます。また、バンカシュアランスの保険販売チャネルとしての重要性が引き続き高まっています。

金融危機による影響で、経済の短期的見通しは不透明です。新興国からの輸入の需要は今後縮小するでしょう。コモディティ価格が大幅に下落し、今後もその傾向は続くと予測されており、インフレ率が低下しています。ダニエル・スタイブは次のように述べています。「新興市場の保険は 2008 年、2009 年と緩やかに成長すると予測していますが、長期的見通しは依然としてプラス成長を維持するでしょう。2002 年～2007 年の年間平均成長率は、生命保険で 11.4%、損害保険で 10.6%でしたが、2008 年～2013 年の年間平均成長率は、それぞれ 7～10%、3～8%に低下する可能性があります」

イスラム保険—解決策としてのタカフルの成長

イスラム教諸国では、イスラム法典であるシャリアに準拠したさまざまなイスラム保険モデルが採用されています。シグマ調査で注目したタカフルは、その中でも特に広く受け入れられています。

タカフルとは、相互扶助(タアウン)と任意拠出(タバッル)の原則を基礎とする制度であり、一団の加入者がリスクを共同かつ自主的に分担するシステムです。任意の寄付金の支払いおよび損害の種類を明確に定義することを通して、不確実性(ガラル) や過剰なリスク引受け(マイシール) などの容認不可能な要素は契約から除外されます。

タカフルには次の要素が含まれています。

- 保険事業とシャリア適格性を監視するシャリア諮問委員会を設置すること
- 株主資本を契約者勘定の基金から分離すること
- 保険契約者に保険営業利益の分配を確約すること
- シャリア非適格資産への投資を回避すること

イスラム保険—今後の見通し

2004 年～2007 年の年間平均成長率は、一般の保険が 10.2%であるのに対し、タカフルは 25%(インフレ調整後)と推定されています。2007 年のタカフル保険料は約 17 億米ドルでしたが、世界のタカフル市場は 2015 年までに 70 億米ドルに達する可能性があります。世界のイスラム教徒 15 億人が拡大する保険市場を支えています。

シグマでは、バーレーン、インドネシア、マレーシア、サウジアラビア、アラブ首長国連邦の 5 つの市場を対象に、詳細な分析が行いました。サウジアラビアとマレーシアは、今後大幅な市場拡大が見込まれています。

ブルーデンス・ホーは、次のように述べています。「ムスリム諸国の急激な人口増加にともない、タカフル市場も拡大するでしょう。商品やサービスに違いがなければ、イスラム教徒は一般の保険よりタカフルを選択すべきであるとシャリア研究者が認めていることも市場拡大を後押しするでしょう。ここ5年間で、多くの企業がタカフルの拠点を新たに設立しており、リタカフル(タカフル再保険)の引受能力(キャパシティ)も拡大しています」

タカフルが直面している課題について、ダニエル・スタイブは次のように説明しています。「タカフルをさらに普及させるには、保険とシャリアに関する専門知識を有するスタッフ、シャリア学者、大規模なリスクに対処するソリューションが必要です。また、事業モデルと規制の標準化も必要となります。タカフル商品に対する一般の認知度向上も重要です」

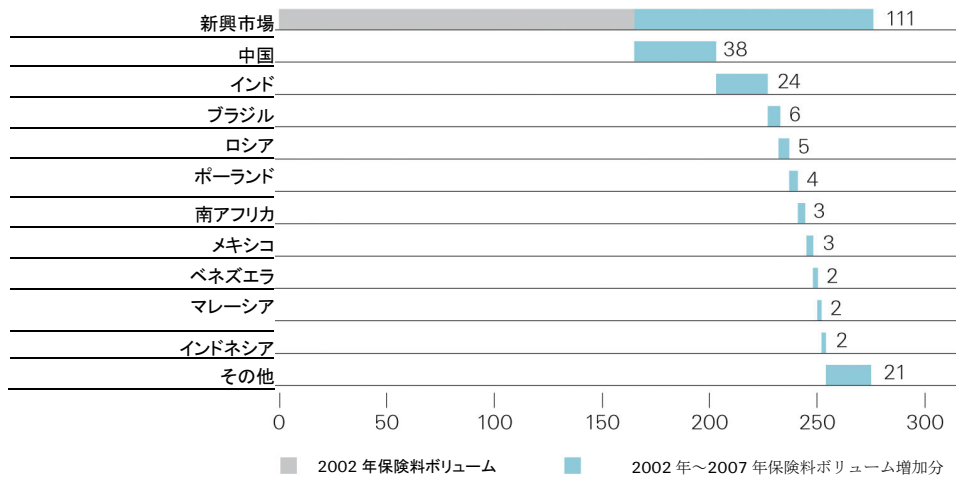
保険会社が規制機関の支援を受けてこの課題にうまく対処するならば、国際的なタカフル業界はその全潜在能力を実現しうる有利な立場を占め、宗派に関らず世界中の顧客を引きつけることができるでしょう。

損害保険と生命保険 新興国上位 10 カ国

生命保険	2007 年保険料ボリューム	新興市場シェア	損害保険	2007 年保険料ボリューム	新興市場シェア
	(単位 10 億米ドル)			(単位 10 億米ドル)	
中国	58 673	26.4%	中国	33 810	17.0%
インド	51 322	23.0%	ロシア	28 973	14.6%
南アフリカ	34 430	15.5%	ブラジル	20 501	10.3%
ブラジル	18 533	8.3%	メキシコ	9 763	4.9%
ポーランド	7 950	3.6%	南アフリカ	8 345	4.2%
メキシコ	7 653	3.4%	ポーランド	7 677	3.9%
マレーシア	5 573	2.5%	インド	7 402	3.7%
インドネシア	4 728	2.1%	トルコ	7 201	3.6%
タイ	4 521	2.0%	ベネズエラ	6 977	3.5%
チリ	3 792	1.7%	アルゼンチン	4 471	2.2%
上位 10 ヶ国	197 177	88.6%	上位 10 ヶ国	129 619	68.0%

出典：各国保険監督当局、スイス再保険会社経済調査・コンサルティング部

2003 年～2007 年における新興市場保険料ボリューム拡大達成に寄与した要素(2002 年の実質価値)



スイス再保険会社について

スイス再保険会社(略称「スイス・リー」)は、世界をリードする再保険会社です。当社は世界 25 カ国以上で事業拠点を展開しています。

1863 年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にする金融商品を提供しています。伝統的な再保険商品と損害および生命・医療保険関連サービスは、包括的なリスク管理のための保険をベースにしたコーポレート・ファイナンス・ソリューションとその付加サービスによって補完されています。スイス・リーはスタンダー&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「Aa3」、A.M. Best から「A+」の格付けを取得しています。